

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

### 1 学力調査問題より ※平均正答率（％）

〈全国学力学習状況調査の結果（令和5年度 6年生 5月時点）〉

平均正答率（％）	国語	算数
相沢小学校	52	44
神奈川県（公立）	66	63
全国（公立）	67.2	62.5

#### 〈国語・算数の結果分析〉

国語 平均正答率が神奈川県の正答率と 同等（やや上）のもの＝○ 特に低いもの＝△  
○文章の叙述から、どのような姿、どのような思いかを捉えること。  
○文章全体を読んで、空欄に当てはまる内容をただしく捉えること。

△資料からの情報を正しく捉え、選択したり、自分の考えをまとめたりすること。  
△説明文から、筆者の思いを読み取り、分かったことをまとめること。  
△敬語の使い方、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

#### 算数

○四則計算や、分配法則を用いて、正しく計算すること。  
○図形を構成する要素に着目して、四角形の意味や性質、構成の仕方について理解すること。  
△分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察すること。  
△図形を構成する要素に着目して、三角形の意味や性質、構成の仕方について理解すること。  
また、図の角の大きさや、2つの三角形の面積の大小について考察すること。

### 3 児童の学習意欲・学習方法・学習環境・生活面に関する回答より

#### ○本校児童のよさを感じられる項目

- ・外国の人と友達になったり、外国のことでもっと知ったりしてみたいと思う。
- ・地域の行事などに積極的に参加している。
- ・国語・算数の勉強は大切だと思う。

#### ○本校児童の今後の課題と感じられる項目

- ・読書量は、全国、神奈川平均より低い。（10分以上1時間未満）
- ・「自分には、よいところがあると思いますか。」という項目では、全国平均に比べると比較的自信がないのか、自己肯定感が低く感じられる。

#### 4 今後の対策と指導の方向性

○昨年度より、本校において「アウトメディア」の取組を行っている。ただ、実態としては、ICT機器を利用した学習の取り組みも見られ、1時間以上使用している児童も比較的多い。今後も、学校や家庭での約束事を決めるなどして、正しくICT機器と付き合いしていくことができるよう、学校側と家庭とが協力していけるようしたい。

○「自分には、よいところがあると思いますか。」という質問に対し、全体的に自信がないという児童が多い。自己肯定感を高めるために、大人（教師、保護者）が子どもたちの良いところを認めていくようにしていきたい。また、各教科に対しても、学習の大切さは理解しているものの、実態として理解が不十分な点が、より自信の低下につながっていると考えられるので、基礎的な学習の定着にも力を入れていきたい。

●国語の結果から、自分の考えをまとめることに対する苦手意識から、問題そのものに向かい合うことができている様子も見られる。資料の中から図や表、語や文などの必要な情報を見つけ、作者の意図にせまるような授業を展開していきます。

●読書量についても全体的に低いという結果を受け、昨年度に引き続き文章を読み取る力が弱いと感じられる。「よむよむタイム」（隔週の月曜日）の他に、隙間時間など、いつでも本を読むことができる環境作りを行っていきたい。また、自分（学年など）に合った本を選んだり、時に、自分のお気に入りの本を紹介したりして、本に興味をもち、進んで読むことができるよう支援していく。

●算数の結果から、図形を構成する要素に注目し、性質の分析や求積に必要な情報を図形から選び出す活動などを取り入れていく。また、空間図形に対する理解を深めるために、具体物などを活用した授業が行えるよう工夫していく。